

泥炭地湿原における水位および地表高変動の観測

技術本部 中央研究所 総合技術開発部 藤村 善安 他

○キーワード

生態系モニタリング、水位変動、泥炭地の地盤変動、西別湿原

○概要

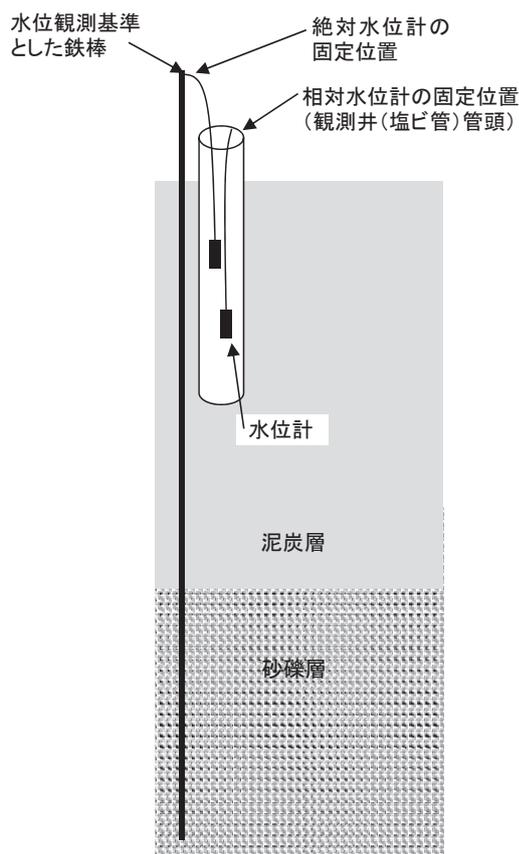
湿原生態系のモニタリングで必須とされる水位観測について、適切に観測されている例が少ないこと、その要因が泥炭地に特有の軟弱地盤の変動特性にあることを指摘した。さらに、適切な水位観測を行うにあたり把握しておくべき地盤変動特性について、実際に西別湿原（北海道別海町）で観測した結果を紹介し、泥炭地における水位観測を行ううえで留意すべき点をまとめた。

○技術ポイント

泥炭地の地盤変動特性は、泥炭の構成植物や堆積履歴、その場所の水位変動特性に応じて異なる。泥炭地ごとの地盤変動の特徴を把握しておくことは、以下の検討等に活用できる。

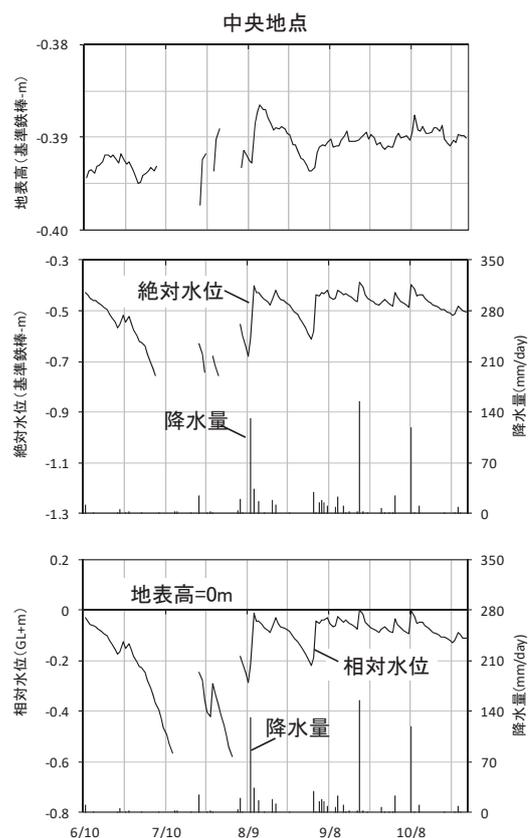
- ① 泥炭地で観測された水位データの精度検証（データ照査）
- ② 適切な水位観測方法の提案

○図・表・写真等



測定に用いた圧力センサーの設置方法

基盤に打設した杭に固定した圧力センサーと観測井戸の管頭に固定した圧力センサーで同一の水面を計測することで、地盤の変動量を観測した。



水位変動および地盤変動の観測結果

水位変動に応じた地盤変動が認められる。地表高および水位は、基盤に打設した鉄杭の天端高-cm で示している。